

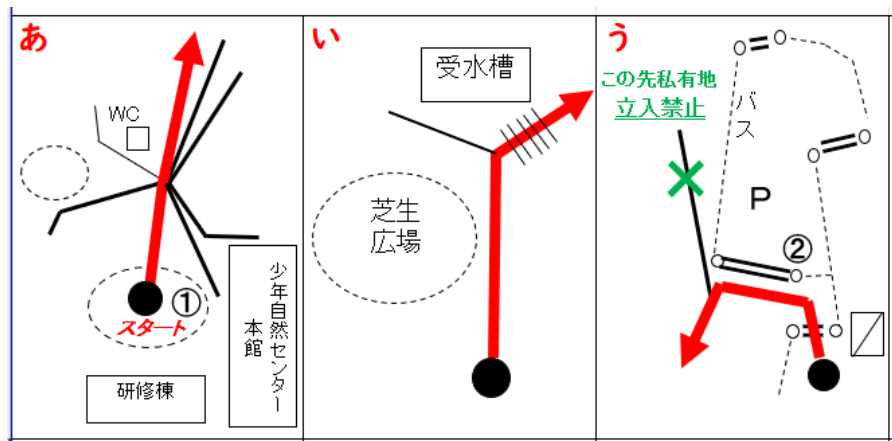
ウォークラリー

1 ウォークラリーとは

ウォークラリーは、**歩くことを楽しみながら、身近な自然やその地域の歴史を再発見**できる野外のプログラムです。“ラリー(競争)”といっても**歩く速さを競うわけではない**ので、ゆっくりと自然観察などを行うことができます。

“コマ図”という独特のコース図を頼りに歩きますが、コマ図を見ただけでは、どの方向に進めばいいのかわかりにくい場合がありますので、**一緒に歩くなかまとの協力が大切**になります。

このため、ウォークラリーは、歩くことによる健康づくりだけでなく、**なかまとのコミュニケーションを深める**ことにも役立ちます。



当センターのコマ図(例)

実際のコース



2 ウォークラリーのルール

- 1グループ4～6人で、コマ図を基にコースを進み、ゴールをめざす。
- 途中のチェックポイントで**課題を解きながら、標準時間にできるだけ近い時間でグループ全員がゴール**することを競う。
- 全員が最終地点に到達し、ウォークラリー記録用紙(課題の解答表)を提出すると、ゴールが認められる。
- 順位は、「**課題得点**(課題の正解数)」と「**時間得点**(標準時間との差)」の合計得点で決まる。

※ 時間得点の例(標準時間：90分)

標準時間との差(ゴール時間)	点数	標準時間との差(ゴール時間)	点数
±5分以内 (86分00秒～95分59秒)	100	±20分以内 (71分00秒～75分59秒) (106分00秒～110分59秒)	85
±10分以内 (81分00秒～85分59秒) (96分00秒～100分59秒)	95	±25分以内 (66分00秒～70分59秒) (111分00秒～115分59秒)	80
±15分以内 (76分00秒～80分59秒) (101分00秒～105分59秒)	90	±25分超 (～65分59秒) (116分00秒～)	75

3 当センターで設定しているウォークラリーのコース

常設コース

- ① 3.6kmコース(1グループが踏破に要する標準時間：1時間)
 - ② 4.1kmコース(1グループが踏破に要する標準時間：1時間30分)
- ※いずれのコースも、時計回りの表コースと反対回りの裏コースがあります。

4 準備物

- 筆記用具 ○飲み物 ○タオル ○コマ図・記録用紙 ○虫よけスプレー

※ センターからの貸し出し

品名	数量	品名	数量
ゼッケン	99	机	2
トランシーバー	7	イス	6
バインダー	40	輪投げ(課題設定用)	1
ストップウォッチ	2	秤(課題設定用)	1

5 服装

- 長袖シャツ ○長ズボン ○履きなれた靴 ○帽子(白推奨)

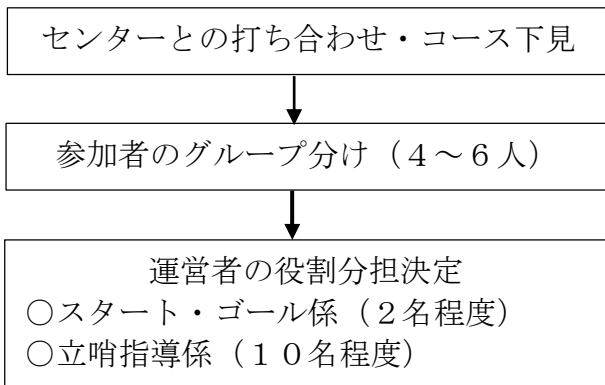
6 料金 無料(コマ図等をコピーする場合：1部10円(宿泊利用団体は無料))

なお、ウォークラリー運営のために大研修室(冷暖房あり)を使用する場合は、1時間830円(冷暖房料は別途必要)の料金が発生します(幼稚園・保育所・小中学校行事は、無料。)

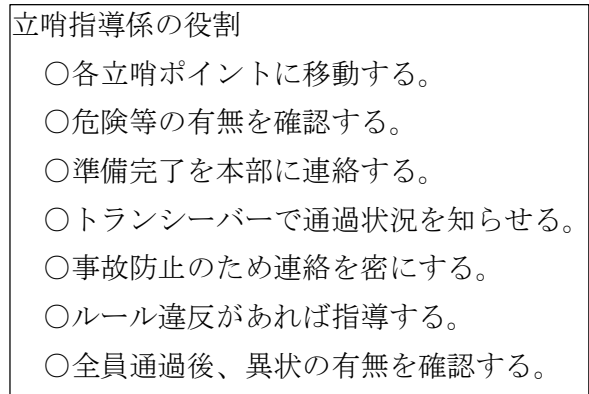
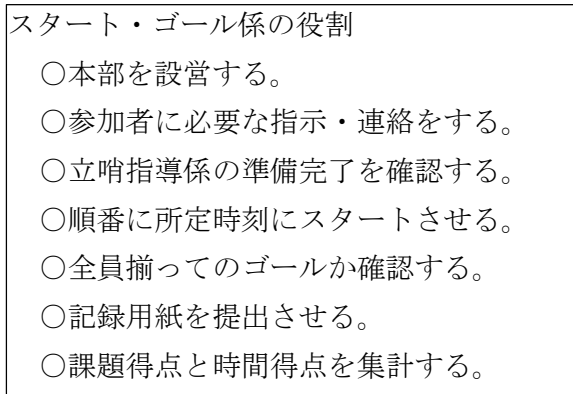
7 事前準備及び当日の流れ

○ 事前準備

(運営者)

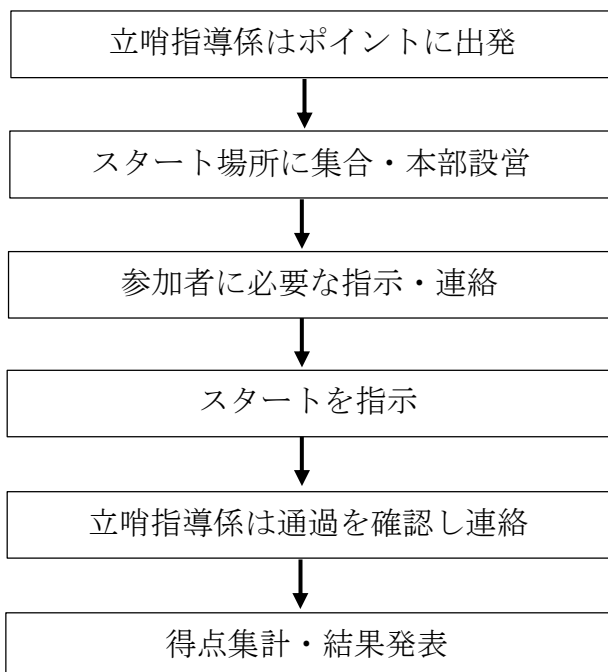


※できるだけ、センターとの打ち合わせ及びコース下見をお願いします。

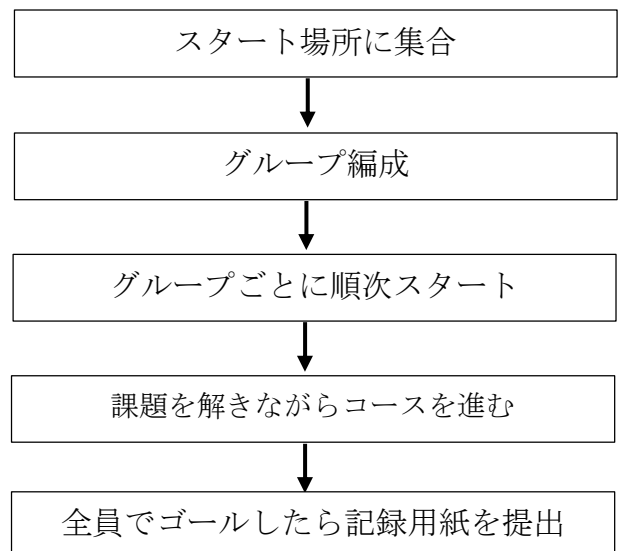


○ 当日の流れ

(運営者)



(参加者)



8 運営者の留意事項

(1) スタート・ゴール係

別紙「**ウォークラリーのルール及び注意事項**」を配布して説明するなどにより、ルール及び注意事項について、参加者にしっかりと指示をしてください。

また、スタート・ゴール係として、別紙「**運営者の留意事項**」を確認し、適切に運営してください。

(2) 立哨指導係

立哨指導係も、別紙「**運営者の留意事項**」を確認し、適切に運営してください。

9 雨天時の対応

雨天時は、ウォークラリーを行うことが難しいと考えられますので、当センター職員と相談しながら、代替プログラムを決めておいてください。

ウォークラリーのルール及び注意事項

1 ウォークラリーのルール

- 1グループ4～6人で、コマ図を基にコースを進み、ゴールをめざす。
- 途中のチェックポイントで**課題を解きながら、標準時間にできるだけ近い時間でグループ全員がゴール**することを競う。
- 全員が最終地点に到達し、記録用紙を提出すると、ゴールが認められる。
- 順位は、「**課題得点**(課題の正解数)」と「**時間得点**(標準時間との差)」の合計得点で決まる。

2 コマ図

- コマ図は、コースの分岐点や交差点の部分だけを示した図である。
- あるコマ図から次のコマ図までの距離は、一定ではない。また、方向(東西南北)も一定ではない。
- コマ図に示された建物や構築物の特徴などをヒントに進むこと。

3 注意事項

- グループ全員で協力し、そろって行動すること。
- 道に迷った時は、間違いないと思う地点まで引き返すこと。
- 他のグループをだましたり、教え合ったりせず、フェアプレー精神で行うこと。 ○ 途中にトイレはないので、スタート前にトイレを済ませておくこと。
- 首・手首・足首に虫よけスプレーをかけておくこと。
- 畑や私有地には立ち入らないこと。また、自然や公共物を大切にすること。
- マムシやスズメバチ、ウルシなどの動植物に十分注意すること。
- 公道では、一列で歩くなど交通マナーを遵守すること。

運営者の留意事項

1 スタート・ゴール系の留意事項

- スタート前に参加者を一堂に集め、「ウォークラリーのルール及び注意事項」を配布して説明するなどにより、ルール及び注意事項について、参加者にしっかりと指示すること。
- スタート前に、参加者に体調不良者がいないか確認するとともに、トイレを済ませて置くよう指示すること。
- 下記のスタート・ゴール系の役割を適切に果たすこと。

<p>スタート地点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本部を設営する。 ○スタート前に、参加者に必要な指示・連絡をする。 ○立哨指導係の準備完了後、各グループを正しい所定時刻（2～3分間隔が望ましい）にスタートさせる。表・裏のコースがある場合は、同時スタートする。 <p>競技中</p> <ul style="list-style-type: none"> ○トランシーバーで立哨指導係と適時連絡を取り、必要に応じて指示を出す。 <p>ゴール時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各グループが全員揃ってゴールしたか確認する。 ○記録用紙を提出させてゴール時刻を記入し、所要時間を計算する。 ○所要時間と標準時間との差から時間得点を算出し、集計する。 ○結果を取りまとめて発表する。 ○終了後、本部を撤収する。

- 順位の決定方法

「**課題得点**（課題の正解数）」と「**時間得点**（標準時間との差）」の合計得点

※ 時間得点の例（標準時間：90分）

標準時間との差(ゴール時間)	点数	標準時間との差(ゴール時間)	点数
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">±5分以内</div> (86分00秒～95分59秒)	100	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">±20分以内</div> (71分00秒～75分59秒) (106分00秒～110分59秒)	85
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">±10分以内</div> (81分00秒～85分59秒) (96分00秒～100分59秒)	95	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">±25分以内</div> (66分00秒～70分59秒) (111分00秒～115分59秒)	80
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">±15分以内</div> (76分00秒～80分59秒) (101分00秒～105分59秒)	90	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">±25分超</div> (～65分59秒) (116分00秒～)	75

2 立哨指導係の留意事項

- 各チェックポイントまでの移動計画を立てておくこと。
- 下記の立哨指導係の役割を適切に果たすこと。

スタート前

- チェックポイントに移動する。
- 到着したら、チェックポイントの位置や周囲の危険の有無を確認するとともに、必ずトランシーバーの通信テストを行う。
- 準備完了を本部に連絡する。

競技中

- トランシーバーで通過状況を知らせるとともに、通過したグループを記録し、全グループの通過を確認する。
- 事故防止のため連絡を密にする。
- ルール違反があれば指導する。

全グループ通過確認後

- チェックポイントに異常がないことを確認したら、順次、本部に戻る。
- スタート・ゴール係の補助をする。